

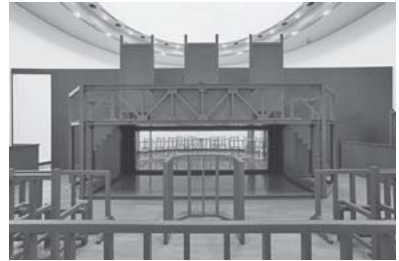
PARASOPHIA
京都国際現代芸術祭2015

と き / 3月7日(土)～5月10日(日)

と ころ / 京都市内各所

(京都市美術館、京都文化博物館別館、京都芸術センター、堀川団地、鴨川デルタなど)

京都ではじめてとなる大規模な現代芸術の国際展が市内各所で開催される。主会場となる京都市美術館と京都文化博物館別館では、歴史ある建物全体が現代美術で埋め尽くされ今までにない空間が展開される。京都市美術館では、入り口に、やなぎみわの巨大な移動舞台車が出現、1階の大陳列室では、高さ15メートルに及ぶ蔡國強の竹製の塔作品に京都の子どもたちが作った大量のオブジェが飾られるという大型作品が登場します。桜を見がてら立ち寄れるカフェやブックショップなども。また明治時代の洋風建築のディテールがそのまま残る重要文化財・京都文化博物館別館では、森村泰昌とドミニク・ゴンザレス=フォルステルの作品を展示。この場所だからこそ表現できる独特の世界観を構築します。さらに、京都芸術センターにはアーノウト・ミックの映像インスタレーション作品、二条城の北側に位置する1950年初めに建てられた店舗併存集合住宅のモデル・堀川団地には、ピピロッチェ・リストや笹本晃、プラント・ジュンソーによる作品が出現。また、出町の鴨川デルタにスーザン・フィリップスによる音の作品が設置され、河原町塩小路周辺にはベルリンの2人組ヘフナー／ザックス、大垣書店の烏丸三条店ショーウィンドーにはリサ・アン・アワーバック、というように場所と作家の化学反応をみることができます。



倉智敬子×高橋悟
 「ヨコハマトリエンナーレ2014展示風景」



ウィリアム・ケントリッジ (時間の抵抗) 展示風景 (プレイベント)



やなぎみわ『日輪の翼』上演のための移動舞台車
 2014

PARASOPHIAは、私たちのものの見方や態度によって大きく印象が変わっていくものかもしれません。単純にみえる外見の裏に遠大な思考の蓄積を発見したり、途方もないイメージの奔流が日常ととても近いものであったり、毎日の馴染んだ景色が全く新しいものにかわったり、そんなことを見つける喜びや自分の中の変化をお楽しみください。まずは、チケット(ガイドブック付き)：一般1800円(前売1400円)、大学生1200円(前売り900円)またはパスポート一般6000円/学生4000円をチケットぴあ、ローソン、ファミリーマートなどで購入して下さい。開催詳細情報はホームページ<http://www.parasophia.jp/>で検索を。

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	㊤	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火		
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111	“予告” 現代美術のハードコアはじつは世界の宝である展 ヤゲオ財団コレクションより (3/31～5/31)																															→5/31	
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151	特集陳列 雛祭り与人形 (2/21～4/7) 特別展観 天野山 金剛寺の名宝 (3/4～3/29)																																
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	細川家 永青文庫コレクション7 (1/20～3/15) 世界考古学会議京都開催決定記念 近世京都の考古学者たち (2/7～4/19)															祇園祭-孟宗山の名宝- (1/20～4/5) 聖護院門跡の名宝-門跡と山伏の歴史- (3/21～5/10)																
	3F	京を描く-洛中洛外図の時代-																															→4/12
	4F																																
	5F	第28回全国シルバード 芸術展(京都部)	第14回 福知山市 佐藤太清賞 公募美術展					京都アート フリーマー ケット2015 春					Art Quake Kyoto 2015 (JAPAN CREATIVITY BIENNALE)					第58回 あまがつ会人形展 書-三月会- 第38回新日美京都巡回展															
	6F	滋賀県近江 上布伝統 産業会館																															
別館	PARASOPHIA：京都国際現代芸術祭2015																															→5/10	

会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
				(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	(日)	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107	本館	PARASOPHIA：京都国際現代芸術祭2015																												→5/10				
	別館	「美術祭」 京都芸術高等学校 美術祭	第80回 創紀展 示現会 京都作家展					第57回 書齋展					第32回 日本京都・中国陝西書画 合同展 併催 日本中国学生書画 合同展					第38回 児 童画国際 交流展					第13回 新 日本書道 書友会関 西展											
京都府立 文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	此配 展	汎具象春季展 (洋画)					第46回 新協京都展 (洋画)					第38回 新匠工芸会 春季展 (工芸)					孤高の洋画家 薄田彦彦遺作展					第39回 〇 人 展					→4/5						
	2F	てな しは	汎具象春季展 (洋画)					第38回 関西美術院展 (洋画)					第6回 かみはて'08 日本画展					孤高の洋画家 薄田彦彦遺作展					第40回 〇 人 展					→4/5						
	3F		第1回 KIRARI25 日本画展																															
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007	企画展「没後40年 堂本印象名品展」 「京都市立銅駝美術工芸高等学校ゆかりの作家たち-京都市日本画の源」																												→4/12					
① 何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311	無常なること・中野弘彦展 (月曜休館)																																	
① 高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	第13回 EVOLUTION 16 (洋画)	青瓷・桃花瓷 木村展之 作陶展 西川勝 陶展 -しずくのゆくえ-					「古画隆臨」山本太郎展 美の予感 -平面、それぞれの場所-					襲名記念 千家十職十四代 黒田正玄展					-東風- 日本画四人展 傘寿記念 森野泰明展																
	グランド ホール	琳派400年記念 細見美術館 琳派のきらめき -宗達・光琳・抱一・雪佳-																																
① 大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	山崎伸子 絵画展					石上誠 油絵展					宝永たかこ 絵画展					春の茶道具展					中本智絵展												
	ミュー ジウム																																	
① 中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323	「イメージのコラージュ 木村光佑展」(月曜休館)																																	
① 並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277	休館中														春季特別展														→7/12					
① 美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111	東山魁夷 わが愛しのコレクション展 -画伯愛蔵の美術品と、そこから拓けた東山芸術の世界-																																	
会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
				(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	(日)	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火
① ① アートギャラリー北野 中京区三条河原町東入 221-5397				第3回 〇〇少女展 “一瞬のきみ、思えば一生。” (写真)															笠原夏衛 作品展 (平面)															
	種 波	京都アートマップ 堀尾貞治展 あたりまえのこと (9日休廊)										ノート2015 國府理展 (23日休廊)																		申 芳 礼	→4/7			
① ① アートスペース虹 三条上通都ホテル隣 761-9238	常 設 展	行動美術京都作家 小作品展										開廊12周年記念 黒川彰夫個展					加藤孝和・佐藤剛外 「それぞれの道のり」 二人展					慧 子 展					近 藤 展	→4/5						
	展 造 会	Art Spece MEISEI 日本画展 -煌-きらめき										Art Space-MEISEI 第4回 新鋭作家日本画展																		朋 八 子 展	→4/5			
① ① アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401		松原昭俊展-湧光 (月曜休廊)										常設展 (月曜休廊)																						
		貸ギャラリー受付中										書 の 花					貸ギャラリー受付中																	
① ① イムラ・アート・ギャラリー 左京区丸太町川端東入 761-7372	2/25~ 山本太郎「平成琳派ニッポン画×芸艸堂」展 (日・月・祝休廊)																																	
① ① 一心堂画廊 中京区烏丸通六角下ル 211-1013	日本画・洋画常設展																																	
① ① 芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613	木版画常設展 (貸画廊受付中)																																	
① ① 絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137	常設展																																	
① ① 延寿堂ギャラリーソフォア 中京区二条寺町東入 211-5552	岡安真美展 (陶) (木曜休廊)					休廊					津田友子展 (陶) (木曜休廊)																							
① ① 御池画廊 北区小山上総町20-2 492-3083	洋画/日本画常設展 (日・祝休廊) 青木敏郎・伊谷賢蔵・池田遙郎・熊谷守一等																																	
① ① カギムラ画廊 中京区河原町四條上ル東入 221-2996	日本画常設展																																	
① ① 画廊おかざき 左京区岡崎神宮道西側 761-0027	現代工芸作家常設展																																	

①: 企画および常設を中心に活動する画廊 ②: 貸画廊

東山魁夷 わが愛しのコレクション展

と き／2月28日(土)～3月29日(日) 10:00AM～8:00PM

ところ／美術館「えき」KYOTO (会期中無休)

京都市下京区JR京都駅・JR京都伊勢丹7階隣接 ☎075-352-1111

昭和を代表する日本画家・東山魁夷（1908-1999）は、清澄で深い情感をたたえた風景画により、世代を超えて人々の心の新奥に響き、その心を捉えてきた。魁夷は、戦後本格的に日本の古典の美に目覚め、蒐集活動を始めに行く。画家魁夷の審美眼により手元を集められたそれらの美術品は、その後彼の大いなる創作の源泉となっていくのである。

本展では、東山家に今も大切に保管されているエジプト、ギリシャ、ガンダーラ、中国など、古今東西にわたる魁夷の貴重な愛蔵のコレクションの数々、及び、創作の源となる下絵やスケッチを、ドイツ、ベルリン大学留学に始まり、北欧などヨーロッパ各地、また日本各地への旅など、創作の源を紹介しながら、選りすぐりの東山作品と共に展覧するものである。また、100種類にのぼる絵の具の中で多くを占める「青」。生前愛用していた貴重な絵の具箱や身近に置いた愛らしい品々をも紹介している。



「二つの月」1963年



「スオミ」1963年



「仏頭」パキスタン・ガンダーラ
2～3世紀



オーギュスト・ロダン
「海辺にて」

特別展

みやこ

京を描く—洛中洛外図の時代—

と き／3月1日(日)～4月2日(日) 10:00AM～6:00PM

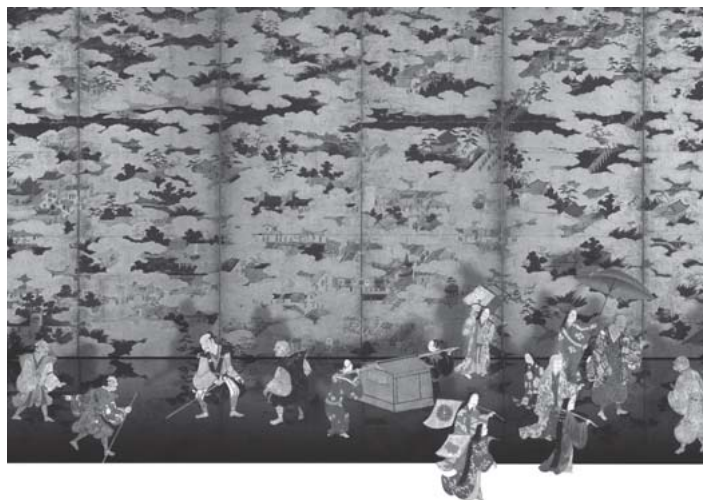
ところ／京都文化博物館3階・4階展示室 (月曜休館)

京都市中京区三条高倉 ☎075-222-0888

首都京都の全景を一双の屏風に描く「洛中洛外図屏風」は、16世紀初頭に登場した。京都の市街（洛中）と郊外（洛外）の景観や風俗を、現実の都市社会を題材に、権力者の政治体制から京都町衆の生活の一駒までを生き生きと描き、応仁・文明の乱から復興し、新たな近世都市へと向かう京都の姿を活写したものである。その後、洛中洛外図屏風は江戸時代を通じて制作され続け、都市の変化に応じて、多様な要素を織り込みながら展開していく。

本展では、「歴博甲本」と呼ばれる国立歴史民族博物館の重要文化財をはじめ、〈醍醐花見図屏風〉などを交え、国内有数の洛中洛外図屏風コレクションを中心としながら、醸成される京都文化と都市のありようを、絵画、文献、考古資料など多様な資料を用いて紹介するものである。

なお会期中に前期（3月1日～3月22日）、後期（3月24日～4月12日）での展示替えもあるのでご留意下さい。



こんどは来れたー野見山暁治展

と き／3月10日(火)～3月22日(日) 12:00～7:00PM
と ころ／ギャラリーヒルゲート1F・2F (月曜休廊)
京都市中京区寺町通三条上ル ☎075-231-3702

考えることはない ぶらりと眺めて下さい 野見山暁治

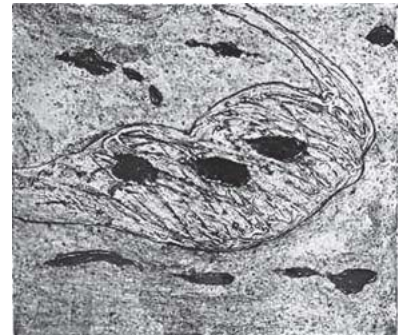
8年ぶりに野見山暁治先生の個展を開かせていただくこととなりました。前は先生が京都に来られなかったので、「こんどは来れたー野見山暁治展」とタイトルをつけて下さいました。

今回は、昨年刊行の『とこしえのお嬢さん』等に収められた版画や、89年に義弟、田中小実昌の新聞小説「きょうがきのうに」のために描いた挿絵等。小さな作品をたくさん御出品下さいます。

「琳派400年」「京都国際現代芸術祭・PARASOPHIA」という二つの大きなアートイベントに沸く(はずの)春の京都。国内外の多くの美術ファンに94才を迎えて益々創作に励まれる野見山先生の作品を楽しんでいただければ幸いです。(ギャラリー ヒルゲート)

野見山 暁治 (NOMIYAMA Gyoji)

1920年福岡県生まれ。38年上京し、東京美術学校油画科予科に入学。本科2年生の頃から“池袋モンパルナス”と呼ばれたアトリエ村に暮らし、フォーヴィズムの絵画に傾倒する。43年東京美術学校油画科卒業。応召の後病を患い、45年福岡の療養所で終戦を迎える。48年病気が治り、再び上京。自由美術家協会に出品、受賞し会員となる。52年渡仏。58年安井賞受賞。64年帰国。無所属となる。68年東京藝術大学助教授(72年教授)に就任(81年辞職)。78年『四百字のデッサン』で日本エッセイスト・クラブ賞受賞。92年芸術選奨文部大臣賞受賞、94年福岡県文化賞受賞、96年毎日芸術賞受賞。2000年文化功労者顕彰。全国の戦没画学生の遺作を窪島誠一郎氏とともに収集、それらを展示保存する「無言館」(長野県上田市97年設立)にも尽力した。2014年文化勲章受章。主な回顧展は83年の北九州市美術館、96年練馬区立美術館、2003年東京国立近代美術館、2011年石橋美術館・ブリヂストン美術館等。個展、著書多数。



岡本マリ展

と き／3月13日(金)～3月27日(金) 9:30AM～5:00PM
と ころ／京都陶磁器会館ギャラリー (木曜休廊)
京都市東山区東大路五条上ル ☎075-541-1102

陶芸という分野で、「リボン」というモチーフをメインに制作。「忘れない幼い頃の記憶」をテーマとする。

そのきおくをたどっていくこと。そして、それはいつも知らないうちに頭の中において、今の私とつながっている。

今回の展覧会では、メインモチーフの「リボン」と、新たに「ツノ」シリーズを発表します。動物たちがもつツノではなく、人のツノ。人にツノはないが、きっとあるのだとおもう。

内面にもつ、目には見えない、見えないほうがよいかもしれない何かが大きく育った。

新作の大きな「ツノ」作品を、ぜひご高覧頂けましたら幸いです。(岡本マリ)



岡本マリ略歴

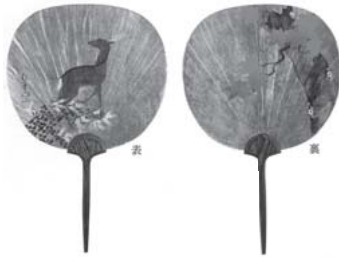
- 1982 岡山県に生まれる
- 2004 成安造形大学立体造形クラス卒業
- 2006 京都府立陶工高等技術専門学校成形科修了
- 2008 備前・伊勢崎紳氏に学ぶ
- 2012 京都市産業技術研究所陶磁器コース修了
- 現在 共同工房MUKU(京都)にて制作



琳派400年記念 細見美術館・琳派のきらめき
—宗達・光琳・抱一・雪佳—

と き／3月11日(水)～3月23日(月) 10：00AM～8：00PM
と ころ／京都高島屋グランドホール 〈7階〉
京都市下京区四條河原町 ☎075-221-8811

江戸時代に華やかに展開した琳派。王朝文化の復興を目指した京都の裕福な町衆らによって創設され、時を経て隆盛し大坂にも広がりを見せてゆく。その後、花の都江戸において装いを新たに、さらに近代の京都で再興された。400年の歴史を持つ琳派は、日常の中で追求された日本独自の美、そして日本人に寄り添った美として高い人気を博している。



酒井抱一「鹿楓図団扇」

本展では、琳派を広く蒐集し、国内外から高く評価されている「細見コレクション」を通して、京都・大坂・江戸と三つの都で咲き誇った系譜を総覧。三都それぞれの特徴や魅力を、美術館開館以来はじめての規模で展覧する。また、今回出品される屏風や掛軸などは細見家で実際に飾られていたものも数多く、個人コレクションならではの視点と美意識が光る琳派を紹介することができるのである。

日本が誇る美の世界「琳派」の優品の数々を、細見コレクションでどうぞお楽しみ下さい。



「忍草下絵和歌巻断簡」
(本阿弥光悦・書／俵屋宗達・下絵)



池田孤邨「四季草花流木図屏風」



中村芳中「白梅小禽図屏風」

無常なること 中野弘彦 展

と き／1月23日(金)～3月22日(日) 10：00AM～6：00PM
と ころ／何必館・京都現代美術館 (月曜休館)
京都市東山区祇園町北側271 ☎075-525-1311

このたび「無常なること 中野弘彦展」を開催いたします。

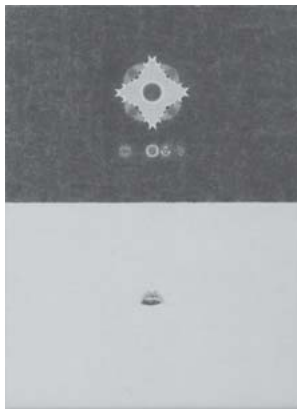
中野弘彦(1927～2004)は山口県に生まれ、京都市立美術工芸学校(京都市立銅駝美術高等学校)で日本画を学びました。卒業後は教員として働きながら、仕事の後に夜は大学で哲学を学び、深夜に絵画を制作するという生活を送ります。

中野は生前、必ずしも注目をあびる画家ではありませんでした。大衆の人気とは無縁で、ごく少数の理解者によって創作活動が支えられた、孤高の画家でした。

画家は、絵に対しての確たる自分の哲学を持つべきであると、常に語っていた中野の言葉が表すように、作家は一人の思想家であるといえます。そして、中野の作品の根底にはいつも「無常」という命題があります。

あらゆるものが画一化され、自分の表情を失いかけている現代にあって、絵画における思想と造形の接点を追求し、ひたむきに生と死の根源を見つめようと、真摯に制作を続けた画家でした。

当館では、過去に3回中野弘彦の個展を開催しております。没後10年という節目を迎え、本展では絶筆をはじめ、屏風など作品約50点を展覧いたします。この機会に是非ご高覧下さい。



「勲章と唇」 1996年



「独り草庵」 1989年

記念出版 『中野弘彦作品集』 3,000円
『中野弘彦画文集』 2,800円

孤高の画家・薄田芳彦遺作展

と き / 3月24日(火)～3月29日(日) 10:00AM～6:00PM
 ところ / 京都府立文化芸術会館
 京都市上京区河原町広小路下ル ☎075-222-1046

私が薄田先生と出会ったのは中学2年の時、美術大学を志ざし浪人の頃、「人として生きる」を教えていただき、つらい時期を乗り越えることができたのでした。武蔵野美術学校西洋画科に学び造形学部勤めて18年の東京生活でも心の支えになっていただいたばかりでなく、そば猪口に始まりあらゆる造型物の美しさに目覚めたのも薄田先生あってのこと。麦や菜の花に道化や修道士を終生の画題とした先生、一筆一筆の厳しさを酒を交えた談笑に学んだ私。

先生最晩年の昭和56年、有志の人達と共に作品総目録を編った縁もあって、先生の死後、未亡人から画室に残された作品のすべてを、長年私淑した滝本和彦氏と私が預かったのですが、何時の日か多くの人達に薄田先生を識っていただきたく念じていたのでした。

その時を今と定め、青春から最晩年の作品から50点を選び遺作展をさせていただきます。ご清覧ください。



「修道士」 1970年
油彩・20号変形



「すすき」 1977年
油彩・60号変形

2015年3月 吉田孝次郎
(祇園祭山鉾連合会理事長)

薄田芳彦 略歴

1898 (明治31) 年	3月、岡山県に生まれる。		
1918 (大正7) 年	京都市立絵画専門学校を中退する。	1928 (昭和3) 年	この頃、京都に定住する。 第9回帝展に入選する。〈花さす娘〉 旺社社創立に参加し旺社展に出品し始める。
1919 (大正8) 年	洋画家を志して上京、川端画学校に学ぶ。	1933 (昭和8) 年	第14回帝展に入選する。〈桃子〉
1920 (大正9) 年	東京美術学校 (現東京藝大) 西洋画科に入学する。	1934 (昭和9) 年	大礼記念京都美術館展に出品する。〈菜の花〉
1921 (大正10) 年	第2回中央美術展に入選する。〈誕生日の静物〉	1935 (昭和10) 年	第3回旺社展で旺社社賞を受賞する。 京都市西京区桂にアトリエを構える。 以後、公募展などに出品せず孤高の道を歩む。
1922 (大正11) 年	第8回二科展に入選する。〈麦〉	1971 (昭和46) 年	京都府立文化芸術会館で個展を開催する。
1922 (大正11) 年	東京美術学校を中退する。 第9回二科展に入選する。〈私の家〉	1982 (昭和57) 年	老衰のため没。享年84。
1923 (大正12) 年	伊藤藤、野間仁根らとともに童顔社を結成する。 大毎日本美術展覧会に入選する。〈蒲公英〉	1998 (平成10) 年	岡山県立美術館に〈夢見るピエロ〉が収蔵される。
1926 (大正15) 年	聖徳太子奉賛展に入選する。〈静物〉		

おかげさまで京都画廊連合会は創立満40周年を迎えました。

京都画廊連合会の創立は、1975 (昭和50) 年1月のことでした。当時京都府立文化芸術会館 (1970年開館) に事務局が移転していた京都府ギャラリー (以前は四条通御旅町で活動) と京都府文化芸術室の指導もあり、主に京都市内で活動する画廊の親睦団体として発足しました。発足当初の加盟会員は58軒。画廊相互間の連絡協調を図ることにより、美術・工芸の振興と発展に寄与することを目的としました。

発足当初から現在も変わらず活動している会員は、一心堂画廊、御池画廊、河原町画廊、祇園画廊 (現何必館・京都現代美術館)、ギャラリー16、マロニエ画廊 (現ギャラリーマロニエ)、三条祇園画廊 (現ギャラリー三条祇園)、ギャラリー宮脇、里見有清堂、思文閣 (現ぎやらりい思文閣)、画廊大雅堂 (現大雅堂)、鉄斎堂画廊 (現ギャラリー鉄斎堂)、星野画廊の13軒です。

同年4月に月刊の機関誌『京都画廊連合会ニュース』を、以前に京都府ギャラリーが発刊していた府ギャラリーニュースを継承・模様変えるかたちで発刊しました。B5判4頁で、所属会員の紹介記事を連載し、末尾に京都府主催の美術工芸教室の案内記事を連載しました。1976 (昭和51) 年2月に第1回画廊フェスティバルを (85年の第10回まで) 開催。76年2月には千本今出川に移転していた京都府ギャラリーに於いて第2回画廊フェスティバルの一環として「画廊推薦京都新鋭選抜作家展」を開催しました。78年1月から画廊ニュースのロゴマークを現在のものに変更しました。1984 (昭和59) 年7月に『京都画廊ガイド』を発行。その後2005 (平成17) 年の改訂第7版 (画廊連合会創立30周年記念として発刊) まで「京都画廊ガイド」を発行しました。インターネットの普及もあり2001 (平成13) 年11月にホームページを開設しました。

40周年を迎えた京都画廊連合会。現在の加盟会員は、特別会員6軒、普通会員75軒、合計81軒です。一口にアートといっても様々な形態があり、個性的な画廊経営者たちがそれぞれの美意識の発露手段として経営している画廊の、連合会という組織は日本国中見渡してもここ京都以外にはありません。私たち京都画廊連合会は、これからも地元京都の芸術活動に様々なかたちで貢献して参りたいと考えております。美術関係者の皆様方、作家活動に動んでおられる方々をはじめ、一般の美術愛好家の皆様方の変なご支援を賜りまして、私たち京都画廊連合会はこれからも地道な活動を続けて参る所存です。(H)



京都画廊連合会ニュース第1号
(1975年1月号)



京都画廊連合会ニュース第34号
(1978年1月号)



『京都画廊ガイド (改訂第7版)』
(2005年)

		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31												
会場		日曜		①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	①	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火												
企	画廊 きよみず	日本画常設展																																												
企	画廊 後素堂	「前田有加里」日本画展 (日・祝休廊)																																												
企	画廊 彩雲	展示休廊中 (土・日・祭日休廊)																																												
企	画廊 たづ	日本画常設展																																												
貸	画廊 ビーナス	三條大橋東一筋目上ル東 771-3104															第二日曜写真会 作品展																													
貸	ざおんギャラリー八坂	東山区祇園町南側 525-1717										穂積和夫 絵画教室 「女性を描く-10」										洋服とアクセサリー 廣瀬光美																								
貸	ギャラリー 青い風	臨時休廊																																												
貸	ギャラリー M	中京区蛸薬師高倉西 221-0979															狂言を描く展 (松本祐佳)															春を呼ぶ京風景展 (松本祐佳)														
貸	ギャラリー カト	1F	会	金	京都仏具協同組合展					チャールズ会春季小品展					第5回うさぎの会展					香鶴会 日本画展					おさだ展																					
貸	ギャラリー かもがわ	2F	会	金	3.11 ミニアチュールART 2015 (火曜休廊)															聊墨人 穂坂勝善展 (火曜休廊)																										
貸	ギャラリー 河原町	院展日本画常設展																																												
貸	ギャラリー 祇園小舎	東山区四條邊繩手東入 551-3828					佐伯浩 日本画展					第30回 楽々悠々市					もめんと麻とおしゃれ帯					第20回 虹の会絵画展					桑畑清登記 金澤清太郎 島津のB																			
貸	ギャラリー 吉象堂	中京区三條柳馬場東 221-3955																																												
貸	ギャラリー Create洛	中京区丸太町通堺町角 708-7898					小林春規展 (版画)					玉井人道・篠原美智子 二人展 (日本画・ステンドグラス)					Binna Parikh 個展 (洋画)					榎並和春個展 (洋画)					小原うたた 王藤彰展 藤田幸子																			
貸	ギャラリー 恵風	1F	Kyoto Art Map2015 片山みやび展 (平面・ガラス) 9日休廊															羽田田優る展 (染色)															李知媛 展 (陶)					王藤彰展 藤田幸子								
貸	ギャラリー 佐野	2F	左京区丸太町東大路東入 771-1011															高谷英美子展 (平面)															藤田幸子 藤田幸子													
貸	ギャラリー 佐野	中京区寺町蛸薬師西北角 221-2767																																												
会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31												
企	ギャラリー 三條祇園	中京区寺町通御池上ル 221-6401															Collections 11:00~17:00 (土・日・祝休み)																													
企	ざらりい 思文閣	東山区古門前大和大路東 761-0001																																												
企	ギャラリー 白川	東山安井東一筋目南 532-2616																																												
貸	ギャラリー 翔	左京区北山通下鴨中通東 724-8154					かよこと703の作品展 (金彩・フェルト・ガラス作品)					写真と手織り二人展 (風景等写真、ショール、ベスト等織物)					七転び八起き展 (日本画グループ展)					第6回玉城和美的描き絵空間展 (絵画・ショール等、描き絵)					美上西展 大崎のぶ																			
貸	ギャラリー 16	東山区三條通白川橋西入ル 751-9238					谷原菜摘子 -Black is the clour- (平面) (月曜休廊)										人長果月展 Carpe diem (インタラクティブ・インスタレーション) (月曜休廊)										ゆき展																			
企	ギャラリー 創	中京区河原町御池上ル 251-0522																																												
貸	ギャラリー 象鯨	中京区姉小路柳馬場東 253-0738																																												
貸	ギャラリー 高倉通	中京区高倉姉小路下ル 221-3390																																												
貸	ギャラリー Little House	下京区室町四条下ル 090-9977-1559					仮面総展 京都					宇宙女子博					西尾善積展					春うらら…恋する雑貨たち																								
企	ギャラリー 鉄齋堂	東山区新門前東山西 531-6164																																												
企	ギャラリー 知 (とも)	中京区寺町通丸太町東入ル南側 585-4160																																												
企	ギャラリー なかむら	中京区姉小路河原町東 231-6632																																												
貸	ギャラリー 中井	中京区木屋町三條上ル 211-1253					木村吉太郎 展					陶新波グループ展					川端英一 展 (23日休廊)																													
企	ギャラリー 白梅園	北区北野上白梅町63 461-0427																																												
貸	ギャラリー ヒルゲート	1F	藤	木	LOCAL 橋本幸志・橋本真弓					こんどは来れたー野見山暁治展 (ドローイング・版画) (16日休廊)										森慎司展 (主体美術会員)					真大杉 藍久保																					
貸	ギャラリー ヒルゲート	2F	藤	木	中京区寺町三條上ル 231-3702															日本・オーストラリア国際版画展 受賞者・千明展															藤田幸子 藤田幸子											
企	ギャラリー 美楽堂	東山区神宮道三條上ル 761-9710																																												

